

令和6年度 第2回視聴覚センター運営委員会 摘録

日 時 令和7年2月26日(水) 午前10時～午前11時20分

場 所 京都市生涯学習総合センター 3階 会議室

出席委員 笹山文美代 委員
佐藤 卓也 委員
富山 沙織 委員
日吉 肇 委員 五十音順

欠席委員 金枿 純子 委員
久保 泰雄 委員
中西 茂雄 委員
船津 雄貴 委員 五十音順

傍 聴 人 1名

1 開会

- (1) 酒崎所長の挨拶
- (2) 摘録署名人に日吉委員長を選出

2 議事

- (1) 令和6年度視聴覚センター事業実施状況(中間報告)
「令和6年度視聴覚センター事業実施状況(中間報告)」の説明を行った。
- (2) 京都市生涯学習総合センターにおけるWi-Fi整備
「京都市生涯学習総合センターにおけるWi-Fi整備」の説明を行った。

上記(1)～(2)の議事に関する説明を基に意見交換を行った。

[委員からの主な質問や意見など] (○は委員、・は事務局)

- Wi-Fiは入館者が館内で利用できるものか。
 - ・ フリーWi-Fiでなく、原則は研修室などの部屋を借りた人がその場で利用。
セキュリティの観点から、利用団体の1日あたりの使用時間を検討している。
- 会議や研修会における具体的な活用は。

- ・ 研修会の講師がクラウドで保存しているデータを会場で活用することなどを想定している。
- Wi-Fi の広報の予定は。
 - ・ 教育委員会を通して記者クラブに新聞等への記事掲載を依頼する。
- アスニーの利用登録団体にも周知していくと有益ではないか。
 - ・ 情報誌「まなびすと」への記事の掲載などを考えている。
 - ・ シネマ事業は好評により継続していくが、利用者の少ないライブラリーは整理が必要。配信可能なオンライン教材が購入できればクラウド化して提供したい。
 - ・ アスニーの利用層が広がる方法を考えていく必要がある。
- 多くの幼稚園にキッズシネマのチラシやポスターが配布されるとよい。
 - ・ 以前、幼稚園の中にはチラシが不要というところもあった。改めて配布希望を確認していきたい。
- アスニーとしての SNS の活用は。
 - ・ 「まなびすと」活用に関する情報を X で発信している。
- こどもコンサートとキッズシネマは、アスニーが期待している入場人数で推移しているか。
 - ・ 会場のキャパシティには余裕があるため、一層の周知に取り組んでいく。
 - ・ 最近では学童保育所の団体入場が増えている。
- 各地域の少年補導委員会が、キッズシネマを夏休みの活動の一つとすれば、入場者の増加につながるのではないか。
- 友達、家族と一緒に大きなスクリーンで映画を観る魅力を打ち出せばよい。
 - ・ キッズシネマは無料でもあり、映画館よりも入場しやすい。
- 園児の保護者は、キッズシネマの会場の様子を写真などで知りたがっている。
 - ・ 写真などを視聴覚センターのホームページに掲載することも考える。
 - ・ 2 月 14 日にオンラインセミナーのプレセミナーを無料で開催し、北海道など遠方の申込者もあった。
- プレセミナーはどのように知られたのか。
 - ・ 歴史の好きな方などがホームページの検索で知ったと考えられる。視聴日時の制約がないことなどがオンラインセミナーの強みである。
- SNS を駆使すれば新規の方にも発信できるが、情報を取ってもらうという考え方では事業が広まりにくい。
- 学校現場には、保護者配信ツールがある。市が配信アプリなどを開発し、情報を登録しておけば更に周知が進むのではないか。
- 園児の保護者はアプリでの情報取得が日常的なので、共感してもらえる配信方法を探ればよい。
 - ・ 市立幼稚園ではアプリが活用されているか。
- インスタグラムによる情報発信を考えているが、得意な教員に負担がかかるな

どの課題がある。

- ・ 若い人はインスタグラムから多くの情報を得ているようだが、どの年代の目にも触れるような周知方法を考えていく必要がある。
- ホームページには多くの情報が掲載されているが、情報を取ってもらわないと届かないという難しさがある。
- ・ アプリであれば情報が届きやすいかもしれない。
- 情報があふれている中でも、人の行動を後押しするのは、人と人とのつながりではないか。
- ・ 今のアスニー全体の在り方にも通じる多くのヒントをいただいた。
- 本日の意見交換によって、Wi-Fi 利用に弾みがついたのはよかったと思える。

閉 会